

自治基本条例の内容を
チャーフィンの物語に沿って
少しお話ししましょう。

①
お茶力フェを開くことに
なったチャーフィンたちは、
どんなお茶やお菓子を出すか、
みんなで話しているようで
すね。「お茶はもっと濃く入れてみ
る?」

お茶力フェを聞くことに
なったチャーフィンたちは、
どんなお茶やお菓子を出すか、
みんなで話しているようで
すね。「お茶はもっと濃く入れてみ
る?」

みんなが思ったことを出し
合って、お茶力フェに来てくれる
人に一番喜んでもらえる
お茶とお菓子の組み合わせを
選びます。

どんなお茶とお菓子になる
んでしょう。

②
お茶とお菓子が決まった
チャーフィンたちは、いよいよ
お茶力フェ会場の準備を始
めました。

「ここでお茶力フェを開くこ
とをたくさん的人に知つても
いいみたいチャーフィンたちは、
のぼり旗を立てることにした
ようです。」

のぼり旗を見て、誰かやつ
てきました。
「お茶力フェをやるんだよ」
チャーフィンは言いました。

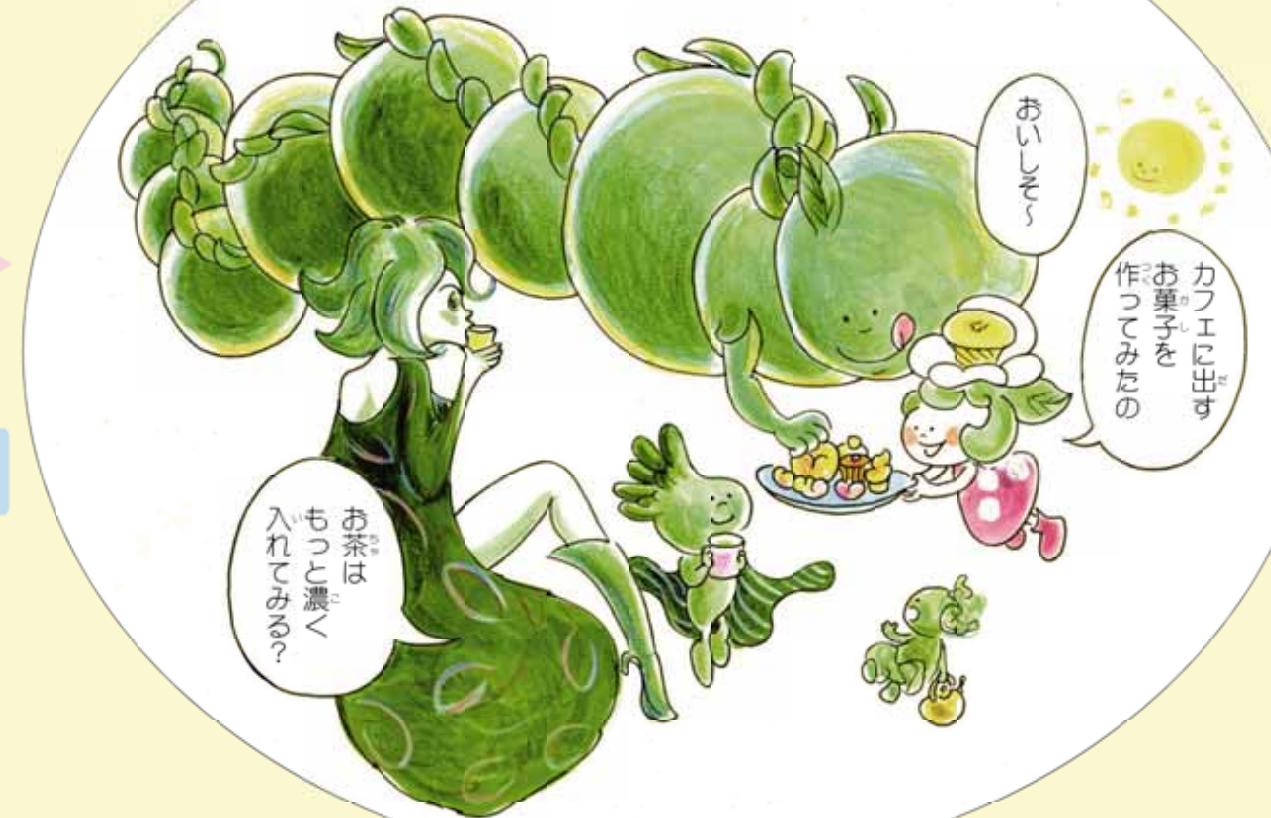
「お茶力フェ工をやるんだよ」
と一緒に準備して、みんなど
んどん楽しくなつてきました。
たくさんの人と協力し合つ
て一緒に準備して、みんなど
んどん楽しくなつてきました。



新しい人の参加

この図は、情報共有と市民参加が別々のものではなく、大きな同じくくりの中で互いに作用していることを表しています。

①情報共有



②市民参加



情報共有の形

情報共有するには、2つの形があります。
①のように、その場にいる人が、持つている情報を相手に伝えることにより、双方から情報提供による共有の形。
②の市民参加の広告・宣伝などのように、情報を伝えた人が、持つている人と情報を共有していくことが大切です。
また、外部への情報提供を効果的に行えるように、いつ、どんな情報を、どういう方法で出すかを決めておくことです。
情報共有して決まったことは、どんどん外部に情報提供して、より多くの人と情報を共有していくことが大切です。

イベントを計画するときには、話し合いの場に出て意見を言うことや、イベント当日にスタッフとしてイベント運営をするといった参加があります。そして、イベント終了後の反省会に出て、失敗したことや改善策を話し合うという参加もあります。

また、直接でなく、インターネットを利用して意見を言ったり、市民アンケートに答えるなどの間接的な参加の形もあります。
お祭り、奉仕作業、討議会、パブリックコメント(※)など、参加の場は私たちの身の回りにたくさん存在しています。

参加の場は情報共有の場でもあります。そして、情報が外部に提供されなければ、そこに参加することはできません。情報共有と市民参加はお互いに深く関係し、作はお互いに深い関係です。

※ パブリックコメント…「意見公募手続」とも言い、政策を作る途中などに市民の意見を聞いて政策に反映させる制度です。インターネットやFAXを利用して、意見を提出できる場合が多くあります。